

平成25年度第1回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成25年5月27日10時00分から、秋田商工会議所ホール80において、秋田市中心市街地活性化協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

(議事内容)

- 場 所 秋田商工会議所 7階 ホール80
- 出席者 委員：14名 オブザーバー：13名
- 報 告 (1) 秋田市中心市街地活性化基本計画の進捗状況等と今後の事業実施予定について
(2) 秋田駅西口バスターミナル建築の進捗状況について
- 協 議 (1) 平成24年度事業報告・収支決算について(監査報告)
(2) 平成25年度事業計画(案)・収支予算(案)について
(3) 任期満了に伴う委員改選について
- 情報提供 (1) 「エリアなかいち」の現況およびにぎわい創出事業の予定について
(2) 各商店街当の取り組みおよび課題等について
(3) まちなかプロジェクトチーム実施予定事業について
(4) 新秋田県立美術館の本格オープンに向けた取り組み予定について

○ 結果報告

渡邊靖彦会長が開会挨拶を行った後、会議の進行をした。

報告(1)「秋田市中心市街地活性化基本計画の進捗状況等と今後の実施予定について」秋田市都市整備部都市総務課檜岡副参事が説明。平成25年3月に内閣府より平成26年6月30日までの秋田市中心市街地活性化基本計画延長の承認をいただいた旨の報告を受けたほか、基本計画に位置付けられている事業のうち、未着手および実施中の事業の進捗状況について説明があった。報告(2)「秋田駅西口バスターミナルの建築の進捗状況について」別紙資料に基づきながら、秋田中央交通(株)伊藤専務取締役より今年1月の支援要望のお礼と、このあとの改築スケジュール等について説明があった。

次に、協議案件について案件(1)「平成24年事業報告および収支決算について」事務局より説明後、土田監事より監査報告があり、原案どおり了承された。案件(2)「平成25年事業計画(案)および収支予算(案)について」事務局より説明後、原案どおり了承された。その後、秋田市広小路商店街振興組合佐々木理事長より先行して商店街の取り組みについて説明があった。

続いて協議(3)「任期満了に伴う委員改選について」事務局より説明。現委員の再任と、昨年度まで協力をいただいた中通一丁目地区市街地再開発組合、千秋公園活性化協議会の2団体が事業終了等に伴い解散していることから、新たに「エリアなかいち」関

連の動向や情報の共有を図るため、「秋田まちづくり共同企業体代表団体の秋田まちづくり(株)」、「なかいちビル管理組合」、千秋公園の動向や情報の共有を図るため、千秋公園内の観光案内を行っている「久保田城址歴史ボランティアの会」を新たに委員として加えることを提案し、原案どおり承認された。協議終了後、今年度から活用する中小企業基盤整備機構の「中心市街地商業活性化アドバイザー」派遣事業の派遣専門家である河村守信アドバイザーより挨拶があった。

引き続き情報提供を行い、(1)「【エリアなかいち】の現況及びにぎわい創出事業の予定について」は秋田まちづくり(株)佐藤伸業務本部長が説明。(2)「各商店街当の取り組みおよび課題等について」は、秋田市駅前広小路商店街佐々木事務局長、秋田市大町商店街高堂理事長、仲小路振興会境田副会長、川反外町振興会齊藤代表幹事、秋田市民市場竹内課長、秋田市広小路商店街振興組合佐々木理事長より今年度のイベント予定などについて、それぞれ情報提供をいただいた。(3)「まちなかプロジェクトチーム実施予定事業」について秋田市企画調整課内藤にぎわい創出担当官より説明。中心市街地のイベントの際に貸し出すテーブル・イスの製作および活用などについて説明。(4)「新秋田県立美術館の本格オープンに向けた取り組み予定について」は秋田県教育庁生涯学習課湯瀬副主幹より7月10日に開催される篠山紀信写真展などについて説明があった。

終了後、各委員より全体を通し、次のような意見や質問が出された。

川反外町振興会齊藤代表幹事

- ・空き店舗の支援メニューは、確かに有効ではあるが、群馬県高崎市は景気があまりにも衰退したことを受け、店舗の内装・トイレ・厨房等の改装工事に際し、上限100万円まで補助するという支援メニューを設けている。秋田市でも来年、国文祭があるので、川反の飲食店も改装を行いたい、先立つものがないというお店がたくさんある。創業支援も大切であるが、景気が冷えて込んでいることから、一生懸命頑張っている既存のお店を支援してもらえるような制度を県・市と共にご検討いただきたい。

秋田市商工部商工労働課佐々木主席主査

- ・市の補助制度も活用できる部分があるので、個々にいろいろとお話しをお伺いして対応していきたい。

渡邊会長

- ・「エリアなかいち」のにぎわいが一服した感があると思うが、その件について伺いたい

藤井委員(秋田商工会議所副会頭)

- ・開業後、イベントが多かったので、イベントが落ち着いた関係で一服感はあると思うが、駐車場の回転数は市の予想で1日1.5回転であったのに対し、実際には1.9~2回転しており、交流館の利用者が多く利用していることが伺える。各テナントも、例えば八峰町でアワビを養殖している業者を応援することで、各市町村との結びつきを重視し

ていくなどいろいろと手を打っている。また、スーパー部門は当初売上が8千万～1億円を推移していたが、客単価が落ちて現在は7千万円台で推移しており、週末にもう少し集客を増やしていきたい。周辺の商店街も「エリアなかいち」に期待しているが、それぞれの商店街も連携を保つように努力をしてもらいたいと思っている。また、毎週第3木曜日になかいちの文化講演会を開催しており、300名の収容規模の施設に毎回200名くらいの入場なので、もう少し来場者を増やしていきたいと思っている。

渡邊会長

・「エリアなかいち」が出来て仲小路の波及効果はいかがなものか

新開委員代理（仲小路振興会境田副会長）

・仲小路の通行量は「エリアなかいち」オープン前と比べると倍増している。オープン効果を受けているのは仲小路であると思うので、大変ありがたい。また、冬にかけて秋田市のおかげで融雪道路ができたため、一般の人々が歩きやすくなった。外柵が整備されたため、駅から仲小路を通過して「エリアなかいち」までの通路が確保できた成果が出ていると思う。ただ、通る人をいかにお店に取り込むかを常時考えており、そのため、お店の前にワゴンを出すことや、土日には小さいイベント等を実施している。「エリアなかいち」を取り囲む周辺の各商店街との連携が一番問題であり、お互いにもっと話し合う機会が必要である。

藤井委員（秋田商工会議所副会頭）

・空き店舗を埋めるには周辺の店が繁盛していなければ、なかなか埋まらないと思われる。また、7月20日に第2回与次郎駅伝が開催される。今回は周辺のご協力をいただきながら、広小路を40年ぶりに通行止めにして開催する。全国的にも、東北主要都市でも初の試みとなる。参加者も昨年は900名だったが、今年は1,600名を超える参加者を見込んでおり、将来的には3,000名を超える参加者を目指し、観客も2,000名を超えるようにしたい。マラソンと駅伝は愛好家が多いので、これを契機にますます与次郎駅伝を発展させていきたい。

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合理事長）

・前回の会議で、広小路や大町で取り組んでいる事業を基本計画の中にきちんと位置づけていただきたいとお願いをしたが、なぜ位置づけられていないのか。きちんとした位置づけをお願いしたい。また、今回、国との交渉の中で経験し感じたことは、中心市街地活性化基本計画で作られている資料の中では、どんなまちをつくりたいのかが見えてこないこと。最初の資料として乗せても、5年・10年と経過すると、時代が変化する中で前の話をしてもしょうがない。1年刻みに変化があるので都度対応していかなければならない。まちをどのようにしたいかという計画がないのは国の経産局からも指摘をされた。それに基づいて、各地域の発展プランもあるだろうし、情報を埋めていくということもこの会の運営ではないかと思う。これだけのメンバーが集まっているので、報

告だけでなく、協議をもっと行えるような場にしていただきたい。

浅野部長

・2点ほどお答えしたい。今後のことについて検討していく時期になったと思う。中心市街地活性化協議会の事業に掲げられた事業の他にも、中心市街地全体のにぎわい形成のためには、観光・文化といった様々な視点を折り込んで、もう一度城下町ルネッサンスのコンセプトがいいのかも含め、今後のあり方について検討をしていかなければならない。中心市街地活性化協議会として再検討していかなければならないことで、会長も挨拶のなかで問題提起をしていたことを認識していただきたい。今後、市の当局と話をしていきながら、協議会で意見を伺い進めていきたいと考えている。また、藤井副会長、境田副会長からも、お互いの連携が必要だと話があったが、今年も多くの事業が予定されており、色々な情報提供があろうかと思うが、周辺で皆様がどのような事業をしているのか、それぞれが分からずに進んでいる状況である。中心市街地にぎわい創出ネットワーク研究会の中で、情報共有をしたり、一元的に情報を発信したり、皆様から情報提供していただくのが本来の位置づけであると思うが、なかなか力不足で実現できてない。このような中で、「エリアなかいち」のデジタル大壁画などでうまく情報発信ができていいのかという課題や、市役所では「アキタッチ」のほかコンベンションのHPと合体してよりいいものを作りあげようとしていることは伺っている。イベントや催し物の情報を一元的に収集して発信していくことについても色々な方々と相談させていただきながら、その仕組みについても考えていきたい。予算はないので予算をどうつけるかも含めて考えていきたい。

渡邊会長

・趣旨はわかった。別の機会に事務局で検討させていただきたい。

閉 会